

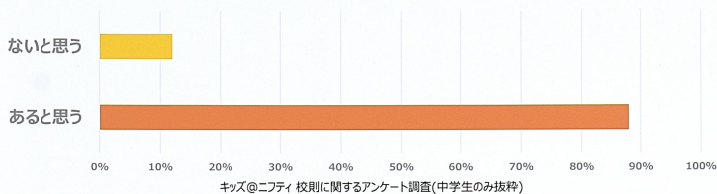
校則、どう感じていますか？



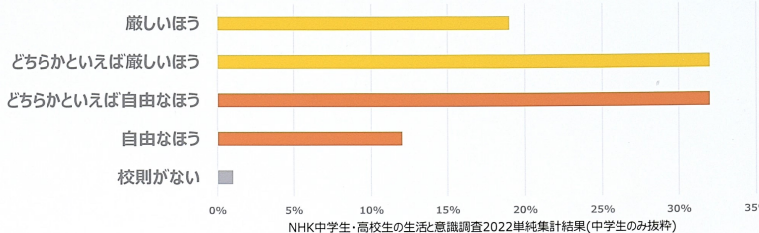
校則に対して、「これは本当に必要なのか」と思う。例えば、髪型や靴の色の指定。
全国的に校則を見直す動きが出てきている。僕はできれば、このような校則を変えていきたい。
でも、仕組みはあるものの実際に動こうとすると、難しいと感じてしまう。
全国の動きを統計から読み取りつつ、難しいと感じるのはなぜか、
ほかの生徒や先生はどう思っているのか。アンケートを取り、考察していきたい。

まず、校則に関する統計を調べた。中学生は校則に対してどう感じているのだろうか？

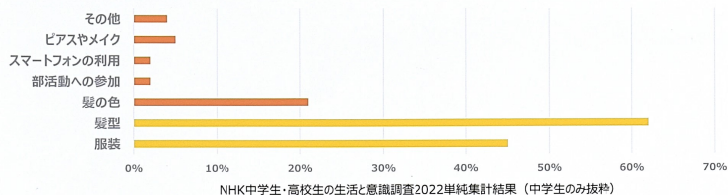
あなたの学校には、おかしいと思う校則がありますか？



Q.あなたの学校の校則は厳しい？ 自由なほう？



校則で強制せずに、生徒の自由に任せてほしいと思う物がありますか？



これらの調査から、学校の校則に対して、「おかしいと思う」あるいは「校則が厳しい」と感じる人が一定数いることが分かる。また、「おかしいと思わない」あるいは「校則が自由なほう」と校則に対して悪いイメージを持っていない人もいた。最後の調査からは、多くの中学生が髪型や服装を校則で強制せず、生徒の自由に任せてほしいと回答している。

では、自分の中学校の生徒と先生は校則についてどう感じているのか気になる、アンケートを実施した。

実施方法

方法:インターネットフォームMicrosoft formsで回答を収集
対象:北杜市立甲陵中学校の生徒(1~3学年120名)と先生(人数非公開)
回答率:生徒51.7% 先生非公開
質問:選択式2問 自由記述3問 合計5問

Q2.質問1ではいと答えた人にどんな校則が理不尽か聞いてみました

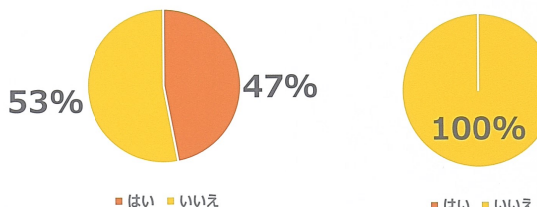
生徒
・整髪料 ・髪型 ・服装 ・スマホ ・買い食い ・ジャージ登校
・高校とは違う校則 ・靴が白限定 ・エアコンの温度

教職員
全員いいえだった為回答無し

Q1.甲陵中学校に理不尽だと思う校則はありますか？

生徒(62名)

教職員



Q1とQ2から教職員は「いいえ」が100%で、生徒は「はい」と「いいえ」がほぼ半々だった。僕は「はい」のほうが断然多いと思っていたので驚きだった。



Q4.質問3ではいと答えた人にどうやって変えられると思うか聞いてみました
生徒(43名)

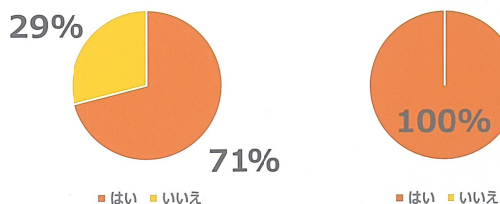
・先生に申し出る ・生徒同士で話し合い、共通の意識を持つ
・PTAの協力 ・署名やアンケート ・ストライキやデモ など

教職員
・生徒会、PTA、教職員での協議 ・学校長の判断 ・判断基準を明確に
・理不尽な理由があれば変えられる ・そもそも理不尽とは何か など

Q3.理不尽な校則は変えられると思いますか？

生徒(62名)

教職員



Q5.質問3でいいえと答えた人になぜか変えられないと思うか聞いてみました
生徒(23名)

・伝統的なもの ・変えたいと思う人が少ない ・生徒には権限がない
・そう簡単に変えられない ・前例がない ・実行力がない など

教職員
全員はいだった為回答無し

Q3では教職員は100%、生徒は70%「変えられる」と回答した。しかし、生徒の30%は変えられない・変えにくいと感じている。アンケートの中に、校則を変える方法を知らないという意見は無かった。行動に移せない、今まで校則が変わった事例がないなど、仕組みがないのではなく、自分たちが動きにくい意見が多かった。

まとめ

自分の予想とは異なり、生徒は校則を変えることにポジティブな考えが多かった。特に先生は変えられるし、変える方法も提示している。しかし、僕と同じように一部の生徒は校則を変えにくいと考えていることも分かった。校則を変えにくいイメージを払拭するには、生徒同士で話し合い、共通の意識を持ち、先生とどうしたら対等に話し合えるか考えることが大切だと思った。また、Q4の先生の回答の中で、「理不尽というだけで決めつけるのではなく判断基準を明確にすればよい」というものがあった。ただ理不尽だから変えるべきではなく、しっかり話し合っどどこが理不尽なのか、どこが学校にとって良くないのか考えていくべきだと感じた。

最後に、答えにくいアンケートを受け入れてくださった先生方、本当にありがとうございました。